

同種末梢血幹細胞採取を受けられる 様へ

説明医師

看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日										
経過	入院日		採取前々日		採取前日	採取1日目		採取2日目	退院/採取予備日	予備日程での退院							
目標	◇幹細胞採取について理解する。 ◇不安が最小限で落ち着いている。 ◇白血球を増やす注射による副作用（腰痛・関節痛など）が自制内で経過する。				◇幹細胞採取について理解する。 ◇不安が最小限で落ち着いている。 ◇白血球を増やす注射による副作用（腰痛・関節痛など）が自制内で経過する。 ◇カテーテル挿入中の注意点が理解できる。			◇カテーテル抜去部からの出血がない。 ◇疼痛が自制内で経過する。									
検査	血液検査を行います。 		検査は適宜行います。														
食事	朝食は自宅で 																
処置・観察	体温・脈拍・血圧を測定します。 										退院時にリストバンドを外します 						
注射・内服	白血球を増やすお薬を入院日から5日間、皮下に注射します。  AM		 AM		 AM		 6時頃  採取中のしびれを予防する点滴をします。（透析センターで）		 6時頃  採取中のしびれを予防する点滴をします。								
行動	制限はありません シャワーできます  		 		カテーテルを入れる前にシャワーを済ませてください。 カテーテル挿入後は、病棟内でお過ごしください。（トイレや洗面以外はできるだけ歩き回らないようにお願いします。）  		トイレをすませて、検査着に着替えてください。    車椅子で透析センターへ移動します。 		車椅子で透析センターへ移動します。  カテーテル抜去後3時間はベッド上で安静にしてください。止血が確認できれば歩行できます。 		退院前にガーゼを外します 						
説明	医師より説明 入院治療計画と幹細胞採取について 						足の付け根に入れたカテーテルから血液中の白血球を集めます。この中に造血幹細胞が多く含まれています。採取中にトイレに行きたくなった場合は、ベッド上で看護師が介助します。飲み物やあめ、携帯電話や音楽プレイヤーを持参していただいてもかまいません。		退院後は入浴できます。退院後、カテーテルを抜いたところの腫れや痛みが続いたり、熱が出たりしたらいつでも受診してください。								

*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
 *入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。
 *入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。